

# 第4回 消費者部会

2018年11月15日(木) 14:00～ 株式会社ゼンショーホールディングス 大会議室

第4回「消費者部会」が開催され、今年度の重点課題を中心に活発な意見交換がなされました。



Check Point

## 消費者部会とは

消費者団体及びその他消費生活関連団体を構成員として、生団連の重点課題などについて生活者・消費者目線での意見の集約や議論を行う会です。

消費者部会での議論と、生団連全体への情報展開や意見の共有、外部への発信・提言を通じて、「国民の生活・生命を守る」という生団連の理念遂行を目指しています。



## 【議事内容】(意見一部抜粋)

### ■ 議題1・・・「人的鎖国」からの脱却～外国人労働者の受入れ体制の構築

- 「日本人のためにも外国人のためにも、しっかりとした制度を確立すべき」  
目先の数年ではなく外国人が長く生活し長く働くことを前提とした制度作りをセットで考えていくべき。
- 「外国人労働者受け入れ以外の対策も、併せて検討が必要」  
根本的な問題である人口減少と労働力不足に対しては、国は少子化対策や機械化による省力化などにも並行して取り組むべき。子どもを産み育てる環境の整備を進めなくてはならない。

### ■ 議題2・・・240兆円国家財政の見える化を

- 「日本もスウェーデンの取り組みを参考にすべき」  
特別会計に頼らない財政運営、受益と負担の関係の明確さ、国民の納得性の高さなど、日本がスウェーデンに学ぶべき例は多い。
- 「国家財政の見える化を提言していくことに賛成」  
説明さえしてもらえれば、納得せざるを得ないお金の使い方もある。財政について、もっとわかりやすく「見える」ようになれば、国民にとって頷ける内容もあるのではないかと。やはりまずは「財政の見える化」を訴えていくべき。

### ■ 議題3・・・災害対策に向けた取り組みについて

- 「災害時のリーダーの必要性」  
現場で采配するリーダーが必要。混乱した状況で指揮を執ることは、十分な教育や訓練、経験なしにできるものではないため、相応の責任と実力、権限を伴う資格として「災害支援リーダー」のような資格を創設できるように提案できないか。

### ■ 議題4・・・軽減税率に関する活動報告と今後の動きについて

- 「複雑な制度は生活にも影響を及ぼす」  
税制とはシンプルほど良いのが原則。生活に欠かせない食品の税率は上げてほしくないという意見もあるが、軽減税率は複雑奇怪なルールの上に高所得者にも恩恵が及ぶという不公平感もあり、低所得者対策を打ち出すのであれば「戻し税」が一番公平だと考える。

### ■ 議題5・・・カジノ解禁後のスケジュールと各地の動きについて

### ■ 議題6・・・第3回企業部会幹事会の議事共有(原発問題)